

2016年7月26日

各位

オリックス株式会社
(コード番号: 8591)

2017年3月期 第1四半期連結決算 当期純利益は768億円、ROEは13.2%

～安定的な非金融事業の拡大と、今後の成長に向けた新規投資を実現～

2017年3月期第1四半期（2016年4月1日～2016年6月30日）の米国会計基準連結決算において営業収益は前年同期比3%減の5,879億円、税引前当期純利益は同4%減の1,184億円、当期純利益は同6%減の768億円となり、ROEは中期的な目標の11～12%を上回る13.2%になりました。

英国のEU離脱など経済環境に先行き不透明感が増す状況においても、安定した収益の環境エネルギー事業などの国内のサービス収入を増加させるとともに、動物用医薬品の国内大手メーカーや米国最大のLIHTC(*)シンジケートなど、今後の成長に向けた国内外の新たな分野への投資の実行を決定しました。

(*)米国の低所得者向け賃貸住宅開発に関わる税額控除。民間事業者による低所得者向け賃貸住宅の新設・改修への投資に対して一定の条件に基づき10年間の税額控除を与えるもの。

■ 主な経営指標の推移

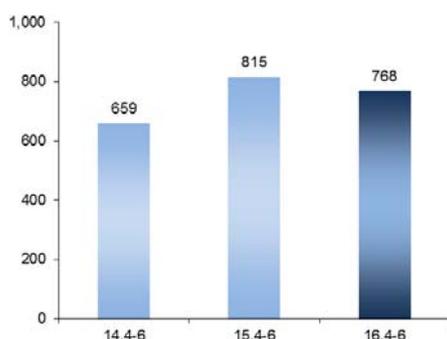
	2015. 4-6	2016. 4-6	増減率
営業収益	6,061 億円	5,879 億円	▲3%
税引前当期純利益	1,239 億円	1,184 億円	▲4%
当期純利益 ※	815 億円	768 億円	▲6%
株主資本当期純利益率 (ROE: 年換算) ※	15.0%	13.2%	—

	2016. 3	2016. 6	増減率
総資産	109,929 億円	107,629 億円	▲2%
セグメント資産	89,724 億円	85,702 億円	▲4%
株主資本 ※	23,104 億円	23,270 億円	1%
株主資本比率 ※	21.0%	21.6%	—

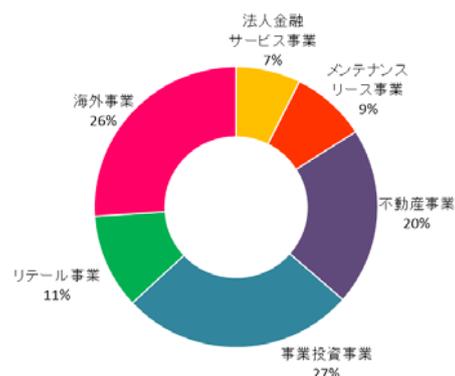
※「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本当期純利益率(ROE: 年換算)」「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』

(単位: 億円)



『当第1四半期のセグメント利益内訳』



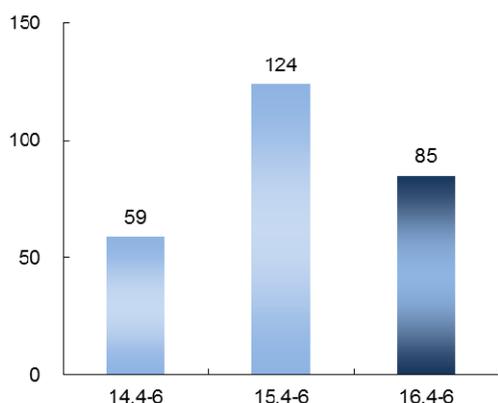
■ 各セグメントの業績概要（2016年4月1日～2016年6月30日）

当第1四半期は、前年同期と比較すると、不動産事業部門、および事業投資事業部門の2つのセグメントの利益が伸長しました。また、法人金融サービス事業部門、メンテナンスリース事業部門では、サービス収入が増加し、リテール事業部門では、マーケット変動による運用損益を除く各社の利益は拡大しました。海外事業部門では、円高の影響により円換算したセグメント資産および利益が目減りしました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<セグメント利益> (単位：億円)

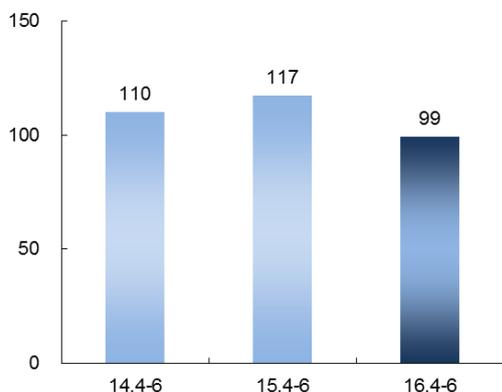


- ・ 2014年12月に買収した弥生からの収益などのサービス収入が増加。
- ・ 前年同期は、出資先の株式売却益（約30億円）を計上。
- ・ セグメント利益は、前年同期比31%減の85億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース

<セグメント利益> (単位：億円)

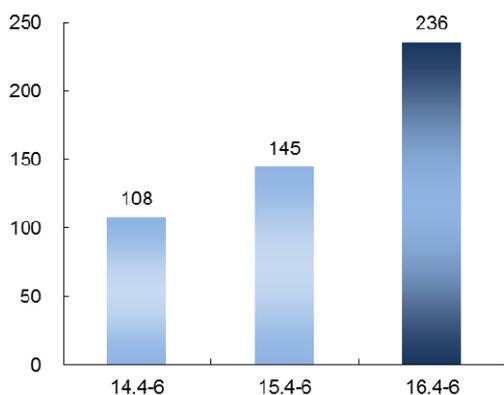


- ・ 車両売却益が減少したものの、車両管理などの付加価値サービスからの収入は着実に増加。
- ・ 収益性の高い自動車事業のリース資産は増加基調。
- ・ セグメント利益は、前年同期比15%減の99億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

<セグメント利益> (単位：億円)

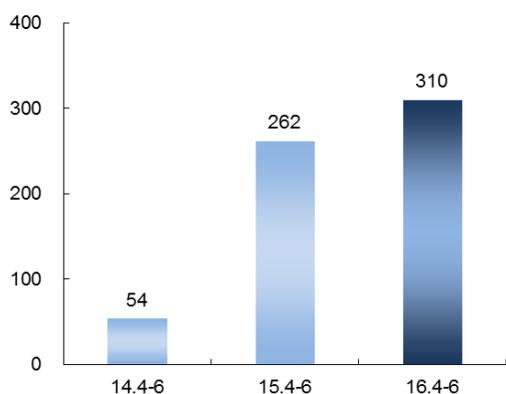


- ・ 活況な不動産市場を捉え売却を推進。売却益が増加。
- ・ 保有資産の評価損や支払利息の減少により費用が減少。
- ・ セグメント利益は、前年同期比63%増の236億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）、コンセッション

<セグメント利益> (単位：億円)

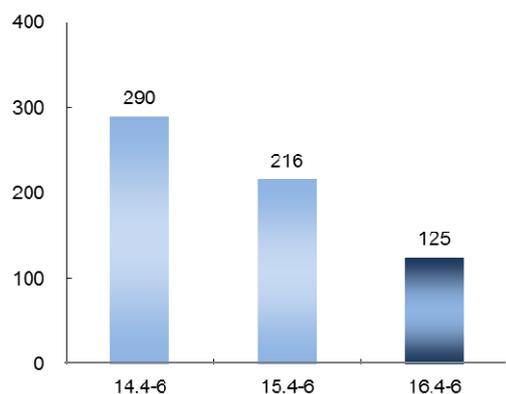


- ・法人向けの電力小売事業やメガソーラー事業などのサービス収入が増加。
- ・株式売却益および新規投資先のバークレン・パーチェス益を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 18%増の 310 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<セグメント利益> (単位：億円)

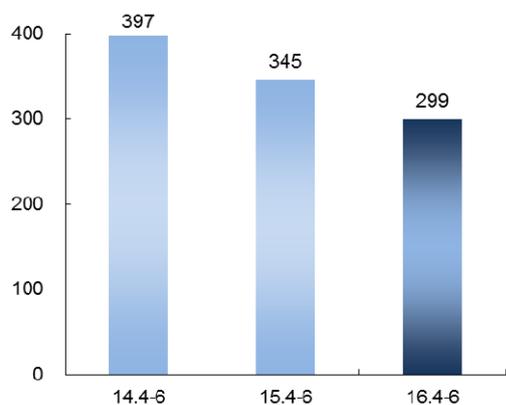


- ・2015年3月期第1四半期は、マネックスグループの株式売却益（約150億円）を計上。
- ・旧ハートフォード生命の資産の運用損益や責任準備金の増減の影響を除くと、各社の利益は前年同期比にて伸長。
- ・セグメント利益は、前年同期比 42%減の 125 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

<セグメント利益> (単位：億円)



- ・前年同期に一過性の増加要因があったロベコの利益および、有価証券売却益が減少。
- ・2015年8月に株式を売却した Houlihan Lokey, Inc. が連結子会社から外れたことによりサービス収入が減少。
- ・セグメント利益は、為替換算の影響もあり前年同期比 13%減の 299 億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、中期的な経営目標として“非金融事業の拡大”による利益成長を掲げています。オリックスグループの強みと専門性を生かしながら、「既存事業の成長」と「重点分野への新規投資」を推進し、目標とする経営指標として、2018年3月期の当期純利益3,000億円の実現を目指してまいります。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 橋本・中村 TEL : 03-3435-3167